

## 会 議 録

会議の名称	朝霞市まち・ひと・しごと創生本部第4回会合	
開催日時	平成28年2月22日（月） 午前9時15分～午前9時25分	
開催場所	朝霞市役所 別館3階 市長公室	
出席者	富岡市長、田中副市長、三好教育長、神田市長公室長、重岡危機管理監、上野総務部長、内田市民環境部長、三田福祉部長、藪塚健康づくり部長、澤田都市建設部長、田中会計管理者、佐藤水道部長、木村議会事務局長、嶋学校教育部長、島村生涯学習部長、内田監査委員事務局長 （事務局） 佐藤政策企画課長、関口政策企画課主幹兼課長補佐、又賀政策企画課専門員兼政策企画係長、同課同係松尾主査、稲葉秘書課長	
会議内容	1 朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について	
会議資料	【資料1】朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案） 【資料2】パブリック・コメント結果	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
会議録の確認方法 出席者の確認及び事務局の決裁		
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【開会】

（事務局 関口政策企画課主幹兼課長補佐）

朝霞市まち・ひと・しごと創生本部第4回会合を開催する。

本部会は本部長である富岡市長の進行により審議を進める。

【議題】

（本部長 富岡市長）

本日の議題は「(1) 朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について」の1点である。

事務局からの説明を求める。

（事務局 佐藤政策企画課長）

それでは、「朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について」、説明する。

昨年12月15日に開催した第3回の会合では、附属機関である朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会において取りまとめた、総合戦略の素案についてご承認をいただいた。

その後、12月24日には総合戦略の素案を全員協議会で議会へ説明するとともに、続く12月28日から本年1月27日にかけてパブリック・コメントを実施した。

パブリック・コメントの結果、【資料2】に示すとおり12件の意見をいただいた。

【資料2】は、中央に「意見」、その右に「本市の考え」、「修正の有無」をまとめている。

12件のうち意見に基づいて修正したものは計3件である。

2ページの番号7では、「シティー・セールス朝霞ブランドで、育成だけではなく、発掘も重要ではないか」というご意見であった。

本市の総合計画において、「発掘していく」旨を記載していることから、記述に「発掘」を加え、修正した。

その2つ下の番号9では、「保・幼・小連携の推進」で「小1プロブレム」という用語説明を追記するべきではとのご意見であり、追記することとした。

3ページの番号10では「アクティブラーニング」について例示を含めた追記を求めるご意見であり、イメージが明確になるように、「タブレット型コンピュータや電子黒板など、

I C T機器の整備を進めるとともに、体験学習の充実を図る。」と修正した。

パブリック・コメントの結果は、修正に至った意見とともに、2月9日に開催された審議会（第6回）において説明し、ご了承をいただいた。

その後、若干の追記を加えて、最終案としてまとめ、審議会会長及び副会長からの審議結果報告という形で、2月17日に市長への報告があった。

本日、本部会合で「朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略」をご承認いただいた後は、今後はこの「朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいて、平成31年度までの目標、施策の基本的な方向、具体的な施策について取り組み、人口減少問題の克服と地域経済の活性化に向けて、全庁をあげて取組を推進することとしたい。

説明は以上である。

#### 【質疑・応答】

（澤田都市建設部長）

38ページの「主な取組」について2点確認したい。

1点目は「基地跡地公園・シンボルロードの整備」について、現在既に開放している朝霞の森を活用したイベントやプレイパークも含まれていると解釈できるか。

2点目は、「黒目川桜並木の管理」について、現在、黒目川まるごと再生プロジェクトでは遊歩道やわくわく田島緑地周辺等も整備しており、桜並木だけでなく、これらも含めた黒目川全体を戦略に位置付けたいと考えている。

「黒目川桜並木等の管理」のように、幅広く読めるような書き方に変えられないか。

（事務局 佐藤政策企画課長）

1点目の「基地跡地公園・シンボルロードの整備」については、朝霞の森も含まれるという解釈で問題ないと考えている。

2点目の「黒目川桜並木の管理」についても、黒目川の桜並木に限定せず、黒目川全体を含めて幅広く取り組んでいく予定であれば、「等」を加えることは問題ないとする。

（本部長 富岡市長）

現在の主な取組「黒目川桜並木の管理」の説明文の中を読むと、黒目川の桜並木に限定した記述では書かれていないため、黒目川全体の事と読み取ることはできる。

そうすると、主な取組の名称は「黒目川の管理」となるが、代表的な取組である「桜並木」を入れて、「黒目川桜並木等の管理」へと修正した方が、イメージがより明確になると考える。

(事務局 佐藤政策企画課長)

ご指摘のとおり「黒目川桜並木等の管理」へと修正する。

(澤田都市建設部長)

1点目については、朝霞の森も含めて戦略に位置付けられているのであればそれでよいが、朝霞の森で行われる運営管理や催事等が交付金の対象となる可能性もあるため、朝霞の森が含まれていることを読み取ることのできる記述にしておきたい。

(本部長 富岡市長)

それでは、「当面は朝霞の森のような暫定的な開放とし、」のように、朝霞の森を記述に含めることとしたい。

(事務局 佐藤政策企画課長)

以上の修正を踏まえ、朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略を決定することとしてよろしいか。

(本部員)

－異議なし－

**【閉会】**

(富岡市長)

質疑等が他に無ければ、朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略を決定することとし、第4回会合を終了する。